

1. 科目名 (単位数)	教育行政学特論 (2 単位)	池袋・名古屋	3. 科目番号	EDMP5238
2. 授業担当教員	高橋 勝			
4. 授業形態	演習		5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	履修条件は特になし			
7. 講義概要	本講義では、教育行政学の理論上の問題を検討するとともに、個人々が享受してきた教育行政・制度に関するものの見方や考え方を問い直すことを目的とする。さらに、今日の教育行政学が対象とすべき教育行政の当面している実践的な諸問題について、文献、資料等を通して検討し、問題解決に向けた討議する力・提案する力を養う。			
8. 学習目標	1. 現代日本の教育行政の歴史の変遷、課題等について批判的に検討した上で、その経緯や意義について説明することができる。 2. 現代日本の教育行政の多様な機能を理解し、その役割について理解した上で、説明することができる。 3. 現代日本の教育行政の政策的、理論的課題について認識を深め、自ら課題を見つけ出し、発表することができる。			
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	授業内容について、毎回800字程度のコメントを書いて提出する。			
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】村井実・全訳解説『アメリカ教育使節団報告書』講談社学術文庫、2018 【参考書】小川正人・勝野正章編『(改訂版) 教育行政と学校経営』放送大学教育振興会、2012 浜田博文編『教育の経営・制度』一藝社、2014 姉崎洋一他編『解説 教育六法・2021 (令和3) 年版』三省堂、2020			
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 出席率 20%、小課題レポート、最終レポートを総合的に判断する。 ○評定の方法 出席率の他、小課題レポート、最終レポートの内容で中心に評価する。			
12. 受講生へのメッセージ	戦後日本の教育行政の歴史を振り返り、特に 1980 年代から現在に続く教育行政の新しい展開と課題について、資料を用いながら多面的に考察する。			
13. オフィスアワー	授業中に伝える。			
14. 学習の展開及び内容【テーマ、学習の目標、学習の内容、キーワード、学習の課題、学習する上でのポイント等】				
1. テーマ	教育行政制度の成り立ち			
	【学習の目標】戦後の教育行政制度がどのようにして構成されたのか、その歴史的経緯を学習する。 【学習の内容】戦後の教育行政制度がどのようにして構成されたのか、その経緯を調べる。 【キーワード】教育行政、戦後の教育改革、教育の民主化、教育基本法 (旧法)、学校教育法 【学習の課題】教育行政、戦後の教育改革、教育の民主化、教育基本法 (旧法)、学校教育法等の内容を調べる。 【参考文献】 訪日アメリカ教育使節団 (村井実訳) 『アメリカ教育使節団報告書』講談社学術文庫、1979 【学習する上での留意点】 戦後の教育改革と教育行政制度の理念を詳しく説明する。			
2. テーマ	戦後の学校教育制度の改革			
	【学習の目標】戦後の教育改革で、学校教育制度は単線型に変わったが、その改革の経緯を詳しく学習する。 【学習の内容】学校教育制度は、戦前の複線型から戦後教育改革による単線型へと大きく変わったが、その内容を学習する。 【キーワード】複線型学校教育制度、単線型学校教育制度、教育の機会均等、男女平等 【学習の課題】複線型学校教育制度、単線型学校教育制度、教育の機会均等、男女平等の用語を使って、学校教育制度を説明する。 【参考文献】 木村元『学校の戦後史』岩波書店、2015 【学習する上での留意点】戦前と戦後の学校教育制度を詳しく比較検討する。			
3. テーマ	公教育制度の構成原理			
	【学習の目標】戦後の公教育制度を構成する基本原則を学習する。 【学習の内容】義務性、無償性、中立性等の理念で説明される戦後の公教育制度の成り立ちを学習する。 【キーワード】公教育制度、義務性、無償性、中立性の原則 【学習の課題】公教育制度、義務性、無償性、中立性の原則等の用語を駆使して、公教育制度を説明する。 【参考文献】 浜田博文編『教育の経営・制度』一藝社、2014 【学習する上での留意点】公教育を支える理念を、具体的にわかりやすく説明する。			
4. テーマ	教育行政の独立性と教育委員会制度			
	【学習の目標】戦後の教育行政において重視された教育委員会制度の有する意味を学習する。 【学習の内容】一般行政とは区別された教育委員会制度の中で、教育行政が運営される公教育の中立性の理念を学習する。 【キーワード】教育の中立性、教育委員会制度、地方教育行政、レイマン・コントロール 【学習の課題】教育の中立性、地方教育行政、レイマン・コントロール等の語を用いて、教育委員会制度の意味を説明する。 【参考文献】 進藤宗孝『教育委員会——何が問題か』岩波書店、2013 【学習する上での留意点】国の教育行政機関と地方自治体の教育行政機関 (教育委員会) との関係についても説明する。			
5. テーマ	中央における教育行政機関の組織と運営			
	【学習の目標】国レベルの教育行政機関の組織と運営を学習する。 【学習の内容】文部科学省における教育行政の組織と運営、及び政策立案と執行の過程を学習する。 【キーワード】文部科学省、組織、運営、政策立案			

	<p>【学習の課題】 文部科学省、組織、運営、政策立案等の用語を用いて、中央の教育行政の運営過程を学習する。</p> <p>【参考文献】 小川正人・勝野正章編『教育行政と学校経営』放送大学教育振興会、2012</p> <p>【学習する上での留意点】 国の教育行政の仕組みが、具体的に理解できるようにする。</p>
6 . テー マ	地方における教育行政機関の組織と運営
	<p>【学習の目標】 地方レベルの教育行政機関の組織と運営を学習する。</p> <p>【学習の内容】 地方自治体の教育委員会における教育行政の組織と運営、及び政策立案と執行の過程を学習する。</p> <p>【キーワード】 都道府県及び市町村教育委員会、組織、運営、レイマン・コントロール、政策立案、政策執行</p> <p>【学習の課題】 教育委員会、組織、運営、レイマン・コントロール等の用語を用いて、地方の教育行政の運営過程を学習する。</p> <p>【参考文献】 小川正人・勝野正章編『教育行政と学校経営』放送大学教育振興会、2012</p> <p>【学習する上での留意点】 教育委員会の教育行政の仕組みを、具体的に理解できるようにする。</p>
7 . テー マ	教育課程行政とカリキュラム開発
	<p>【学習の目標】 教育課程の編成について、国及び地方公共団体、学校の果たす役について学習する。</p> <p>【学習の内容】 教育課程の編成について、国及び地方自治体、学校がどのような役割を担っているかを学習する。</p> <p>【キーワード】 教育課程行政、カリキュラム開発、学校のカリキュラム経営</p> <p>【学習の課題】 教育課程行政、学校のカリキュラム経営等の用語を調べ、国及び地方自治体、学校の役割を学習する。</p> <p>【参考文献】 小川正人・勝野正章編『教育行政と学校経営』放送大学教育振興会、2012</p> <p>【学習する上での留意点】 教育課程行政において、国及び地方自治体、学校の各役割を区別できるように説明する。</p>
8 . テー マ	学習指導要領の歴史の変遷
	<p>【学習の目標】 学習指導要領は、その時代を反映する。学習指導要領（試案）から始まった戦後の学習指導要領の変遷を学習する。</p> <p>【学習の内容】 戦後社会の変化を振り返りながら、学習指導要領の歴史の変遷を学習する。</p> <p>【キーワード】 学習指導要領、試案、法的拘束力、最低基準説</p> <p>【学習の課題】 学習指導要領、試案、法的拘束力、最低基準説等の用語を用いて、戦後の学習指導要領の変遷を説明する。</p> <p>【参考文献】 木村元『学校の戦後史』岩波書店、2015</p> <p>【学習する上での留意点】 戦後社会の変化に伴って、学習指導要領の内容も大きく変化してきたことを説明する。</p>
9 . テー マ	学校組織と学校経営
	<p>【学習の目標】 学校組織のあり方と望ましい学校経営を学習する。</p> <p>【学習の内容】 学校を一つの組織運営体としてとらえ、学校教育の質の向上を経営の視点からとらえ直すことを学習する。</p> <p>【キーワード】 学校組織、学校経営、マネジメント、リーダーシップ</p> <p>【学習の課題】 学校組織、学校経営、マネジメント、リーダーシップ等の用語を用いて、望ましい学校経営のあり方を説明する。</p> <p>【参考文献】 小川正人『現代の教育改革と教育行政』放送大学教育振興会、2010</p> <p>【学習する上での留意点】 教育の質の向上に向けた学校組織と学校経営の望ましいあり方を、具体的に提示する。</p>
10 . テー マ	学校組織と教員文化
	<p>【学習の目標】 学校組織と教員文化の現状と課題を学習する。</p> <p>【学習の内容】 学校組織と教員文化のあり方を、教育行政という視点から捉え直す。</p> <p>【キーワード】 日本と欧米の学校組織、教員文化、専門分化（欧米）、包括主義（日本）</p> <p>【学習の課題】 学校組織、教員文化、専門分化（欧米）、包括主義（日本）等の用語を使って、日本と欧米の教員組織と教員文化の違いを比較検討する。</p> <p>【参考文献】 小川正人『現代の教育改革と教育行政』放送大学教育振興会、2010</p> <p>【学習する上での留意点】 日本で教員の働き方改革が、なぜ問題になるのかを考えさせる。</p>
11 . テー マ	教職員制度と教員の仕事
	<p>【学習の目標】 教職員の職務、研修及び専門職としての教員の仕事について、多面的に学習する。</p> <p>【学習の内容】 教職員の職務、研修、教員の仕事の専門的内容について、教員の働き方改革の動向とも関連づけて学習する。</p> <p>【キーワード】 教職員制度、教員の仕事、専門職者としての教師</p> <p>【学習の課題】 教職員制度、教員の仕事、専門職者としての教師等の用語の意味を深く理解できるように学習する。</p> <p>【参考文献】 小川正人『現代の教育改革と教育行政』放送大学教育振興会、2010</p> <p>【学習する上での留意点】 日本の教員はなぜ多忙になるのか、その解決策も含めてよくわかるように説明する。</p>
12 . テー マ	学校経営をめぐる政策動向
	<p>【学習の目標】 学校経営とは何を経営するのか、学校教育の質的向上と教職員の取り組み意識の問題から考察する。</p> <p>【学習の内容】 学校経営、マネジメント、校長のリーダーシップが言われるようになった社会的背景を学習する。</p> <p>【キーワード】 学校経営、マネジメント、校長のリーダーシップ、地域との連携</p> <p>【学習の課題】 学校経営、マネジメント、校長のリーダーシップ、地域との連携等の意味を人に説明できるように学習する。</p> <p>【参考文献】 浜田博文編『教育の経営・制度』一藝社、2014</p> <p>【学習する上での留意点】 子どもの発達を育み、居場所としての学校という観点を外さないように説明する。</p>
13 . テー マ	学校におけるリーダーシップ
	<p>【学習の目標】 管理職だけでなく、教職員を含めて、望ましいリーダーシップのあり方を学習する。</p> <p>【学習の内容】 子どもの発達を支援し、学校文化をより活性化させるリーダーシップとは何かを学習する。</p> <p>【キーワード】 リーダーシップ、管理職、ミドルリーダー、教職員の参加意識</p> <p>【学習の課題】 リーダーシップ、管理職、ミドルリーダー、教職員の参加意識等の用語を使って、学校の望ましいリーダーシップを学習する。</p> <p>【参考文献】 小川正人・勝野正章編『教育行政と学校経営』放送大学教育振興会、2012</p> <p>【学習する上での留意点】 教職員の参加意識を高めるリーダーシップのさまざまな形態を紹介する。</p>

14. テーマ	学校評価と学校改善
<p>【学習の目標】 学校評価及び授業改善とは何か。それはなぜ必要なのかを学習する。</p> <p>【学習の内容】 保護者、地域住民、外部識者等により学校評価を行い、次年度の授業改善につなげていくシステムを学習する。</p> <p>【キーワード】 学校評価、授業改善、コミュニティ・スクール</p> <p>【学習の課題】 保護者、地域住民、外部識者等により学校評価を行い、次年度の授業改善につなげていくシステムを学習する。</p> <p>【参考文献】 小川正人・勝野正章編『教育行政と学校経営』放送大教育振興会、2012</p> <p>【学習する上での留意点】 学校評価は、学校改善のための重要な資料の一部であることを丁寧に説明する。</p>	
15. テーマ	教職の専門性を考える
<p>【学習の目標】 教職は専門職なのか。教職を専門職として位置づけるためには、何が求められるのかを学習する。</p> <p>【学習の内容】 教職を専門職として位置づけるためには、何が必要なのかを多面的に検討する。</p> <p>【キーワード】 専門職、教職の自律性、リフレクション、実践の知、臨床の知</p> <p>【学習の課題】 専門職、教職の自律性、リフレクション、実践・臨床の知等の用語を使って、専門職としての教職の条件を考える。</p> <p>【参考文献】 佐藤学『専門家として教師を育てる——教師教育改革のグランドデザイン』岩波書店、2015</p> <p>【学習する上での留意点】 専門職の条件とは何か、受講生がそこから思考を進められるように指導する。</p>	